



「ようこそ図書館へ」



みなさんご入学、ご進級おめでとうございます。大切な2年間、多くのことを経験して充実した学生生活を送ることができるよう応援しています。横浜女子短期大学の図書館には、みなさんの学習をはじめ、学生生活や趣味、教養など、新たなスタートをサポートする本が幅広く揃っています。一部をご紹介しますので、気に入った本があったらぜひ手に取ってみてください。
(原真由美)



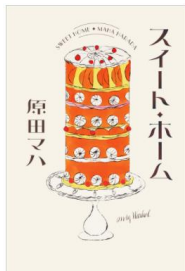
俵万智著・奥宮誠次写真『風が笑えば』中央公論新社 2012

歌人の俵万智さんは女性として、また一児の母として、恋、子ども、家族への思いを31文字に込めて、優しく、時に力強く数多くの短歌を作ってきました。この本は四季折々の美しい写真に歌とエッセイが添えられ、季節を歌で感じる心地よさを味わえます。震災を経験して同じ春は二度と来ないことを誰もが知り、現在人生の秋を迎える年齢になって、短歌で何を表現できるか考えるようになったと言います。



上谷さくら『おとめ六法』KADOKAWA 2020

女性が遭遇する可能性の高いトラブル（恋愛、SNS・インターネット、学校、暮らしなど）によって、被害に巻き込まれた時実際にどう行動したら良いか指針となる法律が紹介されています。六法（法律）というと堅苦しく感じますが、可愛いイラストとともに分かりやすい言葉で解説され、女性に寄り添う法律集です。みなさんの大切な毎日を守る道しるべとなる一冊です。困ったとき手に取って開いてください。



原田マハ『スイート・ホーム』ポプラ社 2018

陽皆（ひな）は雑貨店で働く内気な28歳、お店を訪れる男性に恋心を抱きますが一步を踏み出せずにいます。郊外の美しい高台で両親は小さな洋菓子店「スイート・ホーム」を営んでいます。疲れても家に帰れば甘い香りと家族が迎えてくれます。花のようなケーキを求めて人々が集まり毎日賑やか。読んでいる間ずっと美味しい香りに包まれる春のように心地良いストーリーです。今年もお店の前の街路樹には桜が色づき始めました。



〈新しい生活のために〉お弁当づくり・ひとり暮らしなど

松浦弥太郎『くらしのきほん100の実践』マガジンハウス 2019

大井桃子『お弁当になるおかず222』日本経済新聞出版社 2008

大泉書店編集部編『はじめてのひとり暮らし完全ガイド』大泉書店 2009

〈ほっと息抜きしたい時に〉

國學院大學『みちのきち 私の一冊』弘文堂 2018

清野博『横浜・鎌倉半日さんぽ』昭文社 2021

漆原弘『ぼくは、図書館がすき』日本図書館協会 2013

